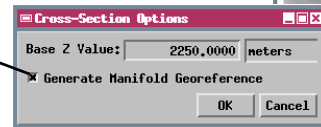


断面マニフォールドオブジェクトの作成

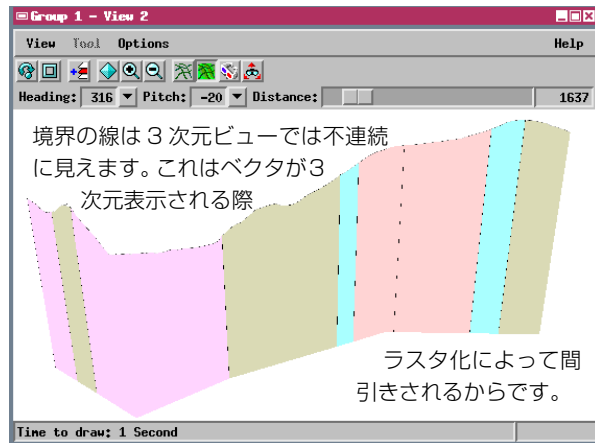
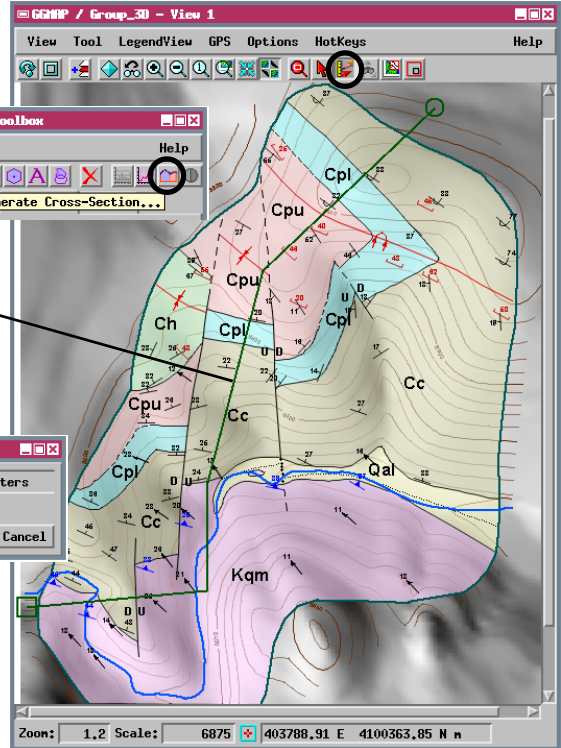
地質や構造地質、考古学等に関係する地下の断面図を簡単に作成するためのツールとして、TNTmipsの2次元表示ウィンドウのジオツールボックスにある断面図の生成(Generate Cross-Section)ツールがあります。このツールは2Dビューで指定した直線あるいは折れ線に沿って垂直断面図のひな形を作成することができます。このツールによって作成したベクタオブジェクトには、地形の断面(グループ中に指定した地表面(Surface)レイヤーの標高値から作られます)とポリゴン境界お



Ruler(定規)やLine(線)ツールを用いて、断面図を生成する線を描き、Generate Cross-Section(断面図の生成)ボタンを押します。



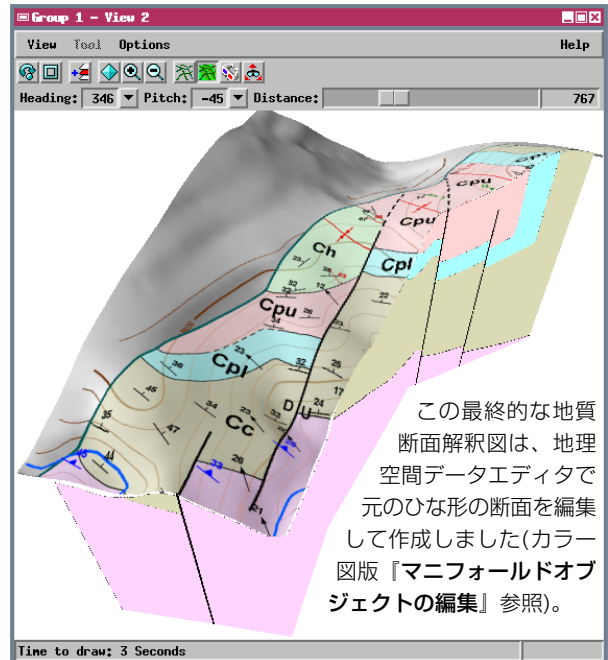
トグルボタンで断面図をベクタオブジェクトとして保存する際にマニフォールド用ジオリファレンスを作成するかどうかを指定します。



コンピューターで計算したマニフォールドジオリファレンス処理済みのベクタ断面図の原形の鳥瞰図表示。ポリゴンの境界は後で正しい構成に修正できる鉛直線で表示されます。

よびそのスタイル(アクティブ・ベクタレイヤあるいはアクティブレイヤがベクタでない時は一番上のベクタレイヤから作成されます)が含まれます。このツールで作成される断面図ベクタオブジェクトは自動的にマニフォールド面になっていますので、断面は3次元鳥瞰図で正しい位置に表示されます。

生成された断面図のポリゴン境界は初めは、地表面から断面底部の標高(ユーザが設定可)に向かって真直ぐに下ろした鉛直方向の線になっています。空間データエディタを使って、この境界線を修正したり、必要な地下構造を追加することができます(カラー図版『マニフォールドオブジェクトの編集』を参照して下さい)。必要ならば、ジオリファレンス処理を使用してコントロールポイントの三角網を編集して、マニフォールド面を微調整することもできます(カラー図版『マニフォールド三角網の編集』を参照して下さい)。



空間データエディタで編集した、完成後の断面図を3次元鳥瞰図表示したものの。地表の地図データを一部マスクして非表示にしている。